

ねんど
2014年度

だい かい ぜんこく やかんちゅうがくこうけんきゅうたいかい ほうこく
第60回 全国夜間中学校研究大会 報告

2日目：11月28日（金）

ほうこく りょういきべつぶんかかい
報告 ① 領域別分科会

だい ぶんかかい きょういくないよう じゅぎょう もりた
(1) 第1分科会 「教育内容、授業」 (森田)

き ちから そだ にほんごきょういく ひろしましりつふたばちゅう やまね ゆりこ
①「聞く力を育てる日本語教育」 広島市立二葉中 山根 百合子

にほんご き と だい せいと びょういん い
クラスに日本語を聞き取れない50代の生徒さんがいます。病院に行く

みうち びょういん かいわ せいりつ
にも身内がつきそわないと、病院のかたとの会話が成立しません。

やかんちゅうがく おお ちゅうごくきこくしゃ にほんご き と
夜間中学には多くの中国帰国者がいて、ほとんど日本語を聞き取

れません。そのため授業は生活言語の習得に力を入れ、自立した

せいかつ もくひょう
生活ができることを目標にしています。

とく き と してん いよく たか くふう
特に、「聞き取る」ことに視点をおき、意欲を高める工夫をしています。

ていじせいこうこう しんがく かんが しゃかいかじゅぎょう とりくみ
②「定時制高校への進学を考えた社会科授業の取組」

こうべしりつまるやまちゅう にしのぶんこう さわらぎ かずひこ
神戸市立丸山中・西野分校 榎木 一彦

いま ひるま ちゅうがく つと やかんちゅうがく き
今までは、昼間の中学に勤めていましたので、夜間中学に来てと

まどい、悩むことが多々ありました。授業内容は、ほぼ授業者に
まかされているため、何を重点的に教えればよいか考えさせられま
した。本校は進学率が高く、定時制に行く生徒が多くいます。定時制
高校に進んだ卒業生から、社会科の授業（現代社会）が難し
く、ついて行くのが大変だと聞かされました。このような経験から、授
業内容を再考し、進学しても困らない内容を授業内容に盛り
込んでいます。

③ 「日本語が不十分な生徒への指導」 東京荒川区立第九中

むらい たつお
村井 達生

わたし がっこう しんとにちがいこくじん ふ かれ たこく
私たちの学校は、新渡日外国人が増えています。また、彼らの多
国籍化がすすんでいます。これにより、母語の種類が増え、限られた時間の
なかで対応することが難しくなっています。教育課程を含め、考
えていかなければなりません。

(2) 第3分科会「識字教育、在日韓国・朝鮮人教育」(池下)

(1) 東京都荒川区立第九中学校 松本 紀子

「東京都の夜間中学で学ぶ在日にかかわる生徒について」

A プリントによる：近年の生徒層の変化、第九中学校のカリキュラム、

きょうざいれい かんじれんしゅう どうし せいと さくぶん
教材例 (漢字練習・動詞リスト・生徒の作文)

B 都夜中で学ぶ生徒について：都内4校の生徒の事例を紹介。事例は生徒からの聞き取りによる。主に、日本に来るまで・日本に来てから・夜間学級に入学してという内容で、紹介の了解を得たもの

① 江戸川区立小松川第二中学校の事例

かんこく びようし げんざい さい ねん らいにち りこんごせいかつほ
韓国では美容師であった。現在72歳。2000年に来日し、離婚後生活保護で生活。神奈川県の自宅から1時間半かけて通学。1年生から入学し勤勉で、復習もしてくる。ほとんど欠席なしなので、学校として皆勤賞を検討中。12月行事の「みんなで話す会」のスピーチが予定されている。日本語の習得にがんばっている。

② 墨田区立文花中学校の事例

かんこく しんとにちしゃ さい ねんちようせんせんそうじ ひなん
韓国からの新渡日者 (Aさん 72歳) 1952年朝鮮戦争時の避難のとき、母が病弱で子ども3人連れての避難は難しいので、生まれたばかりのAさんは置き去りにされた(叔父さんの提案。もしかしたら運よくいい人に拾われ幸せになれるかも・・・)。寝ないで働き洋服の会社を持ち大きくした。母が亡くなる時 (52歳)、働かず酒を飲んでばかりの夫との離婚問題があり観光ビザ (15日) で来日。日本でより大きい店を作ろうと思っていた。15日毎に往復しながら働いた。はじめはキムチ屋で働いたが

きゅうりょう だま わ つぎ しごと てきはつ しこと
給料がなく騙されたと分かった。次の仕事は摘発され、いろんな仕事を

よる はたら とき きゃく けっこん ねんご えいじゅうけん
し、夜はスナックで働いた。その時の客と結婚。3年後に永住権を

しゅとく むすめ むすこ にほんごがっこう い だいがく やかんがっきゅう
取得。娘と息子を日本語学校に入れ、大学にもやった。夜間学級に

にゅうがく べんきょう わす なかま できたの
入学して、勉強してもすぐ忘れてしまうけど、仲間も出来楽しい。

③ あだちくりつだいやんちゅうがっこう じれい 足立区立第四中学校の事例

だつぼくしゃ にほんじん こうかん さんぱつ ゆうしゅう りょうし ははおや ざい
脱北者（Cさん日本人。高官の散髪をする優秀な理容師）母親が在

にち ひと けっこん ははおや じっか しょうがく ねんせい にほん く きこくじぎょう
日の人と結婚。母親の実家で小学3年生まで日本で暮らした。帰国事業

ちょうせん い はは ちちおや いか ははおや にほん つ もど
で朝鮮に行ったが、母の父親が怒り、母親が（日本に）連れ戻された。

ちょうせん みぶんせいど た くろう きこくしゃ げんじつ ちよくめん
朝鮮は身分制度があり、食べるのに苦勞をした。帰国者は現実に直面し、

さけ のが はやじに ひと おお た しゃっきん かえ
酒などに逃れ早死にする人が多い。食べるために借金し返せなくて

けいさつ つうほう けいさつ おっと つま にほんじん はな
警察に通報され、警察で夫が「妻が日本人」であることを話し、スパ

ようぎ けいむしょ い かいほう あと むすめ つ ちゅうごく
イ容疑で刑務所へ入れられた。開放された後、娘を連れ中国に

ちゅうかいしゃ かね わた じつ じんしんばいばい
（仲介者にお金を渡したが、実は人身売買されていた）。はじめは

かせいふ はたら こ にほんご おし ははおや にほん れんらくさき
家政婦として働き、その子どもに日本語も教えた。母親の日本の連絡先

も そと でんわ かね くめん らいにち
を持っていたので、外から電話をかけ、お金の工面がつき来日。Cさんは

にほんじん きこく むすめ ディーエヌエーかんてい こくせき しゅとく
日本人なのですぐ帰国できたが娘はDNA鑑定で国籍を取得した。

むすこ おっと む い ふあん かかえ
息子と夫がまだ向こうに居るので不安を抱えている

④ あらかわくりつだいきゅうちゅうがっこう じれい 荒川区立第九中学校の事例

げんざい さい ねんまえ らいにち や てつだ せいかつ けっこん
現在72歳。17年前に来日。キムチ屋などの手伝いをしながら生活。結婚。

じぶん や も けが はたら へいてん りこん にほんご
自分のキムチ屋を持ったが怪我で働けなくなり閉店した。離婚し日本語も

でき やかんがつきゅうざいがく ねんめ がくしゅう まな
出来なかった。夜間学級在学4年目。ゆっくり学習するクラスで学んで

たいいく ねんれいさ おお うらばんぐみ さくぶん じゅぎょう
いる。体育は年齢差が大きいので、裏番組で作文の授業をしている。

しゃかい とお わ はな
「社会を通していろいろなことが分かってきた。」と話している。

さかいしりつとのぼ ぼちゅうがっこう やかんがつきゅう ゆり げんじろう
(2) 堺市立殿馬場中学校夜間学級 由利 元次郎

きんき やかんちゅうがく たいせつ ほんみょう
「近畿の夜間中学が大切にしてきた本名」

じょうきょう たい りかい か げんそく
～状況に対する理解と変わらぬ原則～

きんき やかんちゅうがく せいとそう ねんだい きんねん たいはん ざいにちかんこく
近畿の夜間中学の生徒層は、1970年代から近年まで大半が在日韓国

ちょうせんじん げんざい せいとかいかつどう にな きんやちゅう きょうし
朝鮮人であり、現在の生徒会活動も担っている。近夜中の教師が

ざいにちちょうせんじんきょういく かか げんそく ぶかい い
在日朝鮮人教育に関わって原則としているのは、あえて「部会(委

いんかい せっち りょういき いしき ぜんいん ぜん
員会)」を設置せず、あらゆる領域で、みんなで意識するべき「全員(全

たい かだい ぜんたいけんしゅう もんだい と あ
体)の課題」であるから。全体研修でこの問題を取り上げていくという

と つづ
スタンスを取り続けてきた。

きんき やかんちゅうがく げんてん ほんみょう よ な
① 近畿の夜間中学の原点：本名を呼び、名のる

きょうし ざいにちちょうせんじんせいと ほんみょう いぎ し ほんみょう よ
まず教師が、在日朝鮮人生徒の本名の意義を知り「本名を呼びた

きも にほんじんせいと ほんみょう いみ けいはつ ちょうせんじん
い」という気持ちになる。日本人生徒にも本名の意味を啓発し、朝鮮人

せいとしん しぜん じぶん だ かんきょう たいせつ
生徒自身が自然と自分を出せる環境をつくることを大切にしてきた。

けんしゅうかい やかんがつきゅう きょうし ざいにち にん ていき ざいにちちょうせんじん
研修会での夜間学級の教師(在日4人から)の提起:「在日朝鮮人

ほんみょう な の にほんじん もんだい にほんじん
が本名を名乗ることができないのは日本人の問題であるから、日本人の

せきにん あ まえ ほんみょう な の じょうきょう もど ほ
責任で当たり前前に本名が名乗れる状況に戻して欲しい」

② 教室での現状

* Aさん ねんせい かんこく けっこん ねんまえ らいにち げんざい むすこ
1年生。韓国生まれ、結婚で30年前に来日。現在は息子さんとくらししている

がっまいにちしゅつせき と ほんみょう よ ほけんしょう ぎんこう
: 4、5月毎日出席を取るときに本名を呼んでいた「保険証も銀行

ぜんぶ つうしょうにほんめい もと がっこう
も全部(通称日本名)A本です。どうして学校ではいけないのか?」そ

ご たんにん い ほか きょういん つうしょう もど
の後Aさんは担任には言うのをあきらめ、他の教員に「通称に戻した

い」と いった いろいろなやり取りの中で何でも話してもらえるように

なったが「現実に差別がある」ということも言われる。

* Bさん げんざいせいとかいれんごうかいがいちょう
現在生徒会連合会会長

ほんみょう おおさかふ がっこうちょう と ちょうせんじんしゅうじゅう
: 本名で大阪府や学校長とやり取りしているが、朝鮮人集住

ちくう たいへん くろう あじ がっこう い きゅうしょくひ
地区生まれで大変な苦勞を味わった。学校に行かなくなったのは給食費

はら や したばたら とうとう はたら ちいき にちじょうしよう
が払えないから。パチンコ屋の下働き等々で働き、地域での日常使用

めい も ほんみょう よ ていこう な
名を持っている。本名で呼ばれることに抵抗はなかったが、なかなか慣れなかった。

* Cさん こ ころ きおく
子どもの頃の記憶から

せんご ねんごろざいにちちょうせんじん もっと 民族教育に燃えた時期に
: 戦後1945～1949年頃在日朝鮮人が最も民族教育に燃えた時期に

にん きょうだい なか ひとり ちょうせんがっこう い ねん はんしん
5人の姉弟の中で1人だけ朝鮮学校に入れられた。1948年に阪神

きょういくとうそう 民族教育弾圧事件が起こり、最後には日本の学
教育闘争といわれる民族教育弾圧事件が起こり、最後には日本の学

こう ぶんさんにゆうがく よぎ とき ねんせい 民族
校に分散入学を余儀なくされた。その時5年生だったCさんの民族

がっこう せんせい にほん がっこう い なまえ よ へんじ
学校の先生は「日本の学校に行っても名前を呼ばれてもハイと返事をせず、

ちょうせんご へんじ い
朝鮮語で「イエと返事をしなさい」と言ったそうです。

③ ていげん おも ほんみょう な の こと わだい しゅうちゅう どうじしゃ
提言から：主に「本名を名乗る」事に話題が集中した。当事者た

ちのさんび げんじょう にほん く こ たち
ちの賛否はまちまちです。現状として日本でこれから暮らしていく子ども達

にとっては、つうしょう のほうが (でも) よいのではないか。民族としてのプラ
イドがある。(世代の違いから若い人は)「特に差別は感じていない」とい

う方もいました。当事者の生徒さん達が参加していたので、それぞれの考え
を聞くことができました。

(3) だい ぶんかかい ぞうせつ きょういくじょうけん ピーアールかつどう くだう
第5分科会 「増設、教育条件、P R 活動」 (工藤)

(1) ぜんこく や かんちゅうがくこうけんきゅうかい ほうせい化 と く
全国夜間中学校研究会 法制化の取り組みについて

とうきょうあだちよんちゅう すだ とみお
東京足立四中 須田 登美雄

ぜんこく や かんちゅうがくこうけんきゅうかい ある みち
～全国夜間中学校研究会の歩いてきた道とこれから～

ねんまえ ねんだい かいぜんこくちゅうがっこう や かんぶきょういくけんきゅうきょう
60年前の1954年第1回全国中学校夜間部教育研究協

ぎかい きょうとたいかい
議会（京都大会）において、すでに夜間学級の法的措置に関する

ちんじょうしょ げんこうほう ふび ぜせい
陳情書（現行法の不備を是正し、あるいは新しく法制の裏付けを確立

する）が採択されている。1963年、当時の荒木文部大臣が参議院文教

いいんかい やかんちゅうがく かいしょう げんきゅう
委員会で夜間中学の解消について言及し、さらに1966年に行政

かんりちょう やかんちゅうがく そうきはしかんこく だ おお しょうげき あた
管理庁が、夜間中学の早期廃止勧告を出し、大きな衝撃を与えた。

どうじ はんたい と く ひろ
同時に反対の取り組みが広がった。

ねん だい かいたいかい とうきょう にほんべんごしれんごうかい じんけんきゅうさい
2000年の第46回大会（東京）で日本弁護士連合会に人権救済の

もう た おこな ほうしん さいたく せんもんいいんかい せっち
申し立てを行う方針を採択し、専門委員会が設置され、2003年2月20

日に救済の申し立てを行った。2006年8月10日に日本弁護士連合会

くに がくれいきしゅうがく ひとびと きょういく う けんり
は国に「学齢期修学することのできなかつた人々の教育を受ける権利

ほしょう かん いけんしょ ていしゅつ ねんだい かいたいかい はちおうじ
の保障に関する意見書」を提出。2008年第54回大会（八王子）で

は、「すべての人に義務教育を！専門委員会」の設置を決定し、広報や

ぜんとどうふけん せいれいしていとし さいてい こういじょう こうりつ やかんちゅうがく せっち
全都道府県と政令指定都市に最低1校以上の公立夜間中学の設置と

じしゅやかんちゅうがく えんじょ きそん がっこう ぎむきょういくみしゅうりょうしゃ うけい
自主夜間中学への援助や既存の学校での義務教育未修了者の受入

れなどを行政施策とするプランを採択。翌年の第55回大会（神戸）

じしゅやかんちゅうがく ふく かくだいせんもんいいんかい かいさい ほうてきせいび ぎむ
で自主夜間中学を含めた拡大専門委員会を開催し、法的整備（義務

きょういくとうがくしゅうきかいじゅうじつほうあん せいりつ ていあん
教育等学習機会充実法案の成立）の提案がなされた。以後、

ぜんやちゅう かつどうほうしん ほうせいび こっかいぎいん はたら おこな
全夜中の活動方針として、法整備について国会議員に働きかけを行

かつどう つづ
う活動が続けられている。

ねん
2012～14年にかけて毎年8月に国会での院内集会を、数多くの
こっかいぎいん さんか え かいさい ほんねん がつ やかんちゅうがくとうぎむきょういくかく
国会議員の参加を得て開催。本年4月には夜間中等義務教育拡
じゅうぎいんれんめい ほっそく ぎいん やかんちゅうがくしきつ こっかい もんぶかがくいんかい
充議員連盟が発足し、議員の夜間中等視察や国会での文部科学委員会
まえむ どうべん つづ ぎむきょういくみしゅうりょうしゃ じつたい あき
での前向きな答弁が続いている。義務教育未修了者の実態を明らか
にするために、そうむしょう こくせいちょうさ きょういくこうもくかいぜん けんとう はい
総務省が国勢調査の教育項目改善の検討に入るなど、あら うご はじ
新たな動きが始まっている。またまいにち よみうり あさひ しんぶんしゃ
毎日・読売・朝日などの新聞社
しゃせつ と あ じょうほう きょうゆうか
の社説にも取り上げられた。これからは、情報の共有化をすすめ、みん
ながし めぎ ぜんやちゅう かつよう
なが知ることを目指し、全夜中のホームページをおおいに活用したい。

～討論の中での札幌からの発信～

もっと たいせつ ぎむきょういくとうがくしゅうきかいじゅうじつほうあん せいりつ む うご
最も大切な「義務教育等学習機会充実法案」成立に向けた動
なか いちぶ さんかしや いま こうりつ
きの中にあって、一部の参加者から「今ある公立はどうなるのだ！」などの
ぎもんでん だ わたし さまざま ぎもん たい ほうてき ぶき わたし
疑問点が出された。私はこうした様々な疑問に対して、法的な武器を私
なに も じしゅ こうりつ けん じしゅ けん
たちは何も持っていないのだから、自主も公立もない県や自主しかない県
ひつよう こうりつ ほうあん つか じょうけん
にすぐにでも必要なものであり、公立はこの法案を使ってさらに条件
かくじゅう しゅちょう ぐたいれい しゃかいふくしきょうぎかい
の拡充をすべきであると主張した。具体例として、社会福祉協議会
ほけん がっこうほけん じしゅやかんちゅうがく
のボランティア保険をとりあげた。学校保険のない自主夜間中学において、
じゅこうせい はい ほけん ひつす じゅこうせい
スタッフと受講生が入る保険は必須であるのに、受講生はボランティアで

はないという理由で初めは拒否された。しかし、社会福祉協議会・保険

代理店・保険会社との粘り強い交渉の結果として、受講生も含めた

年間一人300円の保険に加入できるようになった。このような時に、国や

地方自治体における、予算措置を含む義務教育充実の条件整備の

法律があれば、どれだけ交渉が楽に進んだだろうと思う。したがってこ

の法案は、行政のみに対するものではなく、社会全般に対するものだ

と主張した。

分科会の終わりに個々人の自己紹介があったが、遠友塾の3人の受

講生のスピーチはとても立派であり、誇らしく思いました。

(2) 2012年支援学級の開設から、その後

おおさか ぶん さとちゅう かじやなおき
大阪・文の里中 加治屋直喜

1979年養護学校の義務教育化が実施されるまで、多くのしょうがい者は

就学猶予・免除を適用され、毎年2~3万人が就学の機会を奪われて

きた。大阪の夜間中学で車いすの生徒を受け入れるようになったのは

1991年天王寺中学夜間からと聞いていており、その後多くの夜間中学

が受入れるようになった。当時、どの学校も、エレベーター・トイレ・机・

介助に関する問題に取り組んでいた。

しかし、^{つうがく}通学については^{じりき かよ}自力で^{ばあい}通えない場合は、一部で^{いちぶ}自主的な^{おく むか}送り迎えがあった^{ほか}他は、^{にゅうがく}入学できなかつた。そこで、^{ひる}お昼の^{ちゅうがく}中学のように^{しえんがっ}「支援学級」を^{せっち}設置できないかと^{くに}国に^{ようぼう}要望を^あ上げたが^{きよひ}拒否される。

この^{ようきゅう}要求は、^{きんきやかんちゅうがくこうせいとかい}近畿夜間中学校生徒会として^{つぎつぎ}次々に^つバトンタッチされていった。特に^{とく}天王寺^{てんのうじやかん}夜間の^おOさんは、あらゆる^{こうしょうあいて}交渉相手に^{たいさくあん}対策案を^つ突きつけていた。2003年に^{ねん}文の^{ふみ}里^{さとちゅう}中の^た建て^か替えがあり、エレベーターが^いついた^{ので}、^{くるま}車^{しんにゅうせい}いすの^{むか}新^{ねん}入^{しや}生^{ねん}T^{しや}さんを^{むか}迎えた。しかし2006年の^{しょうがい者}しょうがい者^{じりつしえんほう}自立支援法(旧^{きゅうほう}法)が^{がくしゅうしえん}でき、ヘルパーによる^{がくしゅうしえん}学習支援ができなくなり、^{にい}お兄さんの^{おく むか}送り^{ねん}迎え^{がつ}だけに^{さいどにゅうがく}なった。2010年3月、Tさんは、再度^い入^{ねん}学^{がつ}でき^る可能性を残して^{のこ}除^{じよせき}籍^{けつ}を^{ねん}決^{じょうきほうりつ}意^{はいし}する。2013年に^{ねん}上^{じょうきほうりつ}記^{はいし}法^る律^るが^{はいし}廃^る止^るされ、^{しょうがい者}しょうがい者^{しゃそうごうしえんほう}総合支援法が^{しこう}施行された

この^{ごろ}頃、^{しゅうかい}Oさんは^{たび}集^{しゃ}会^{がくしゅうけん}の^ふ度^ふに、^{しゃ}しょうがい者^{がくしゅうけん}の^ふ学^ふ習^ふ権^ふに^ふ触^ふれ、^{せっち}エレベーターの^{しえんがっきゅう}設置や^{せっち}「支援学級」の^{うった}設置を^{ふみ}訴^{さとやかん}えていた。文の^{ふくがく}里^{もと}夜間も^{おおさかふ}T^しさんの^{はつげん}復^{ねん}学^{はい}を^{やかん}求め、大阪府や市に^{ねん}発^{はい}言^{やかん}していった。2012年に^{はい}入^{やかん}って、夜間^{がっきゅう}が^{しえんがっきゅう}支援学級^{へいせつ}に^{ほうてき}支援学級^{もんだい}を^{しさく}併^{しさく}設^{しさく}することに^{しさく}法^{しさく}的^{しさく}な^{しさく}問^{しさく}題^{しさく}はないという^{しさく}施^{しさく}策^{しさく}

^だが^{つうたつ}出^{ねん}された。通^だ達^だは2011年に^{がっこうかんけいしゃ}出^{じょうほう}されていたが、^{がっこうかんけいしゃ}学校関係者が^{じょうほう}その^{じょうほう}情^{じょうほう}報^{じょうほう}

^{にゅうしゅ}を^{てんのうじやかん}入^{ふみ}手^{さとやかん}できないでいた。天王寺^{てつづ}夜間^{はい}そして文の^{はい}里^{はい}夜間^{はい}が^{はい}その^{はい}手^{はい}続^{はい}き^{はい}に^{はい}入^{はい}

り、2012年4月に^{ねん}T^{がつ}さんが^{ふくがく}復^{がつ}学^{てんのうじやかん}したが、^{ねん}O^{がつ}さんは3月に^{てんのうじやかん}天王寺^{てんのうじやかん}夜間^{てんのうじやかん}を

そつぎょう じぶん ねんかんうった つづ じつげん とき じぶん
卒業したので、自分が9年間訴え続けたことが実現した時に、自分は

おんけい う こと ねん がつ そつぎょう
その恩恵を受ける事ができなかった。2014年3月Tさんは卒業していった。

せいとかい かつどう さいにゆうがく みち ひら じょうほう はや
生徒会の活動が再入学の道を開いたこと、情報をいかに早く

せかく はあく つた じき いっ み わ
正確に把握し伝えるかで時期を逸してしまうことを、身をもって分かっ

い
たと言わざるをえない。

ほうこく きょうかべつぶんかかい 報告 ② 教科別分科会

(1) しゃかいか もりた 社会科 (森田)

① とやちゅうけん しゃかいかはんかい とりくみ かき こうがいがくしゅうかいほうこく 「都夜中研：社会科班会の取組 夏季校外学習会報告」

とうきょうとえどがわくりつこまつがわだいにちゅう はら ときお
東京都江戸川区立小松川第二中 原 登喜夫

ことし こうがいがくしゅう つきじしじょう けんがく しゃしん
今年の校外学習は、築地市場の見学。(写真をスライドでみる)

ざいにち せいと こうはずがくしゅう いぎ
在日の生徒さんには、校外学習は意義がある。

② きんき やかんちゅうがくきょうぎかい しゃかいぶかい とりくみ 「近畿夜間中学協議会：社会部会 フィールドワークの取組」

あまがさきしりつせいりょうちゅうきんじょうぶんこう いしうち きんや
尼崎市立成良中琴城分校 石打 謹也

かこ さき おおさかぞうへいきよく おおさかじょうしゅうへん せんせきめぐ
過去のフィールドワーク先：大阪造幣局、大阪城周辺の戦跡巡り

とうようじきびじゅつかん ならとうだいじ おおさかしりつはくぶつかんとう
東洋磁器美術館、奈良東大寺ミュージアム、大阪市立博物館等

ことし きょうとひがしやまほうめん せいと こうべかきょうかいかん きょういん
今年：京都東山方面(生徒)神戸華僑会館(教員)

おおさか こうさんか にん にんさんか
大阪11校参加、100人から150人参加

ねらい：文化や歴史への関心を高める。

成果・課題：教室を出て、生徒と教員の関係性の深まり

じつぶつ み たいせつ ところ うご
実物を見る大切さ、心の動き

はっけん よ お
発見を呼び起こす

じっさい たいけん
実際の体験

こうれいしゃ さんか くふう
高齢者の参加をしやすくする工夫

かいじょ ひよう せいやく じねんど こうほ はや き
介助、費用の制約、次年度の候補を早く決める

(2) 外国語 (英語) (池下)

テーマ「自己尊重感を高める入門期の英語教育」

たよう せいとひとり さんちょう がくしゅういよく たの ふか ないよう
～多様な生徒一人ひとりを尊重し、学習意欲をわかせる、楽しく深い内容

えいご どうにゆう
の英語を導入するには～

こうし まちだあつこ しょうがっこう べつえいごきょういくけんきゅうかいだいひょう
(講師：町田淳子 小学校テーマ別英語教育研究会代表)

えいごぶんかかい ねん まちだこうし じっせん と い
英語分科会では、この2～3年、町田講師による実践とワークショップを取り入

れ、研究を行っている。

①近年、小学校でも生徒の多様化(帰国子女・通塾・初めて)の実

態があり、それは夜間中学と共通している。英語のレベル差があり、

すでに英語を苦手と感じている学習者がいる。英語教育の目的は、他

きょうか おな ぎむきょういく りねん じつげん えいごがくしゅう
教科と同じ、「義務教育の理念を実現すること」。英語学習のプロセス

いみ えいごきょういく せいかつ ぶんか
で意味のある英語教育、スキルだけではなく生活や文化などとのつながり

だいじ
が大事。

がくしゅうしゃ せいちょう こくさいりかいきょういく ないよう
② 学習者の成長のために「国際理解教育の内容をもったテー

べつえいごがくしゅう どうにゆう じぶんじしん ちいき ひろ こくさいしゃかい ぐたいてき
マ別英語学習の導入」自分自身や地域、広くは国際社会の具体的な

そざい ちきゅうしみん い はぐく えいご しゅうとく
テーマを素材に地球市民として「生きる」を育みながら英語を習得させ

よろこ
ぶ喜び

じっせんれい
③ 実践例

ひと ごかん かんきょうもんだい こ けんり わたし
1. テーマ：人の五感・環境問題・子どもの権利・私のスパイス・トイ

だれ しごと たすう えいごがくしゅう
レットペーパー・誰の仕事？(ジェンダー)ほか多数。英語学習

なか せいちょう きょういく
の中で成長できる教育を。

たと たんごがくしゅう かみ み と かんきょう
2. 例えば単語学習で、紙を見せて問いかける(環境テーマ) → 「これ

なに えいご せいと こた かみ
は何？(もちろん英語で)」 → 生徒の答え(たいがいは)「紙」

つぎ かみ す と なに かみ せい
次にその紙をまるめて捨て、問いかける「これは何？紙？ゴミ？」 → 生

と こた かみ うら つか
徒の答えは「紙・ゴミ・ゴミではなく裏が使える・リサイクル

さまざま く なか いち かんが かた
できる」など様々である(暮らしの中に位置づいた考え方を

せいと
生徒はできる。)

たんご ていじ み わ つくえ いす しこう
* 単語の提示も見てすぐ分かるものではなく(机とか椅子とか)、思考につ

ながるような、英語を話したくなるような物の提示に。

3. 自己を知るためのプリント作成→自分の名前・好きな色・好きなことば・

大切なもの・性格・家での仕事などを書き込むことで自分を見

つめなおす(英語で)というもので、その該当する内容が単語

として用意されているので、その中から選んで記入できる。さ

てそこで問題が!「では、ペアになって自分の性格を紹介し

あいましょう」というワークショップの時間。それまで聞いてい

たことが「ふっ」と消えて頭の中が真っ白になってしまった

池下でした。

その他にポートフォリオの有効性も語られました。講師の実践している

現場と夜間中学での授業時と、我が遠友塾での授業

回数とでは違いがありますが、多様なアイデアを取り入れられた

らと思いました。また遠友塾の3年生英語「私の一日」

はテーマ別学習に合致していると思いました。時間が短く、

参加者による交流ができませんでしたが、有意義な学習がで
きました。

(3) 日本語 B (国語) (白倉)

資料として配布されました 東京・墨田区文花中学校教諭野中康史

じさく ものがたりきょうざい ほかに どうきょうと やかんちゅうがくこうけんきゅうかいこくごはん
さん自作の「物語教材」他と、東京都夜間中学校研究会国語班

さくせい かいていしんこくごいち はな あ
作成の「改訂新国語一」をもとに話し合われました。

のなかきょうゆ ぶん かちゅうがく じったい ちゅうごく
野中教諭は、文花中学の実態として中国やコロンビアなどから

いじゅう せいと にほんご ふえて せいと たい じゅぎょう
移住してきた生徒がほとんどで、日本語が不得手な生徒に対する授業は、

ちゅうがっこう きょうかしよ むずか しょうがっこう きょうかしよ しょうがくせいむ
中学校の教科書では難しすぎる。小学校の教科書は小学生向け

か おとな こうれいしゃ じっかん いみ きょうかん え
に書かれていて、大人・高齢者には「実感」という意味での共感を得る

い
にはふさわしいとは言えない。

せいと じったい そく おとなむ きょうざいぶん ものがたりさくひん
それならば、生徒の実態に即した、大人向けの教材文（物語作品）

じぶん しっぴつ じさく お てん
を自分で執筆することにしたと、自作するにあたって押さえた4点として

よ て おとな
1 読み手は、大人であること。

2 ほのぼのとしたストーリーにすること。

ちいきせい も こ ないよう
3 地域性を盛り込んだ内容にすること。

つづ きたい てんかい こころ
4 続きが期待できるような展開を心がけること。

じゅぎょう つづ けいしき ぶんりょう いっかい いちまい おさ
また、授業は続きもの形式とし、分量は一回A4一枚に収める。

こんご せつめいてきぶんしょう じったい そく つく
今後は、エッセイや説明的文章においても、実態に即したものを作れな

ひろ さぐ
いかアンテナを広げて探っていきたい。

とうきょうと こくごぶかい さくせい きょうざい かんじ じ まな そうぞう しこう
東京都の国語部会が作成した教材は、漢字1字の学びから想像・思考

りよく ひろ おうようりよく うなが りれきしよ か かた しょうかい
力を広げて応用力を促す。履歴書の書き方やハローワークの紹介、

びょういんじゅしん ほうほう だ かた ぶんべつ にちじょうせいかつ みつちやく
病院受診の方法、ごみの出し方(分別)などは日常生活に密着し
ていて、^{がいこく}外国からの^{いじゅうしゃ}移住者にとっては^{にちじょうせいかつ}日常生活に^か欠かせない^{たの}頼もしい
きょうざい かん
教材だと感じました。

(4) ^{すうがく}数学 (^{くどう}工藤)

ひがしいくのちゅうがっこうやかながつきゅう がくしゅう げんじょう ～東生野中学校夜間学級の学習の現状～

おおさか もりぐちさんちゅう いいい けんじ
大阪・守口三中 石井 謙治

① ^{がつきゅうへんせい}学級編成と^{がくしゅうないよう}学習内容

ねん ざいせきせいとすう めい しゅつせきりつ やくはんぶん かんこく ちょうせんせき
2014年の在籍生徒数は129名で(出席率は約半分)、韓国・朝鮮籍

^{せいと}生徒が^{たいはん}大半である。クラスは、^{こくご}国語の^{がくしゅう}学習^{おう}レベルに^{いか}応じて、以下の6ク
ラスに^わ分かれる。

^{くみ}1組(小学^{ねん}1年)・^{くみ}2組(小学2年)・^{くみ}3組(小学3年)・^{くみ}4組(小学4年)・^{くみ}5組
(小学^{ねん}5～6年)・^{くみ}6組(中学1年)

しかし、^{しゅう}週に^{じかん}3時間ある^{すうがく}数学の^{とき}時には、^{くみ}1・^{くみ}2組(小学^{ねん}1・2年)、^{くみ}3・^{くみ}4
組(小学^{ねん}3・4年)、^{くみ}5組(小学^{ねん}5～6年)、^{くみ}6組(中学^{ねん}1年)を^{もくひょう}目標にする。

② ^{すうがく}数学の^{がくしゅうじょうきょう}学習状況

^{くみ}1組の^{がくしゅう}学習は、^{こくご}国語では「^かひらがな・^かカタカナ」の^{はじ}書きとりから^{すう}始まり、^{がく}数学は「^{すうじ}数字の^か書きとりと^{いみ}意味の^{がくしゅう}学習」からは^{ぶんしょうだい}じめる。文章題は^{いみ}意味の^{わか}分

からない^{せいと おお}生徒が多いので、読みと復^よ唱^{ふくしょう}を重ね、言葉^{かさ}の意味^{ことば いみ}を一つ一つ^{ひと}説明^{せつめい}

し、もう一度^{いちどぶんしょう}文章^{ぶんしょう}にかえる。文章^{ぶんしょう}はひらがな^{しょう}を使用^{かんじ}し、漢字^{ばあい}の場合^{ばあい}にはル

ビ^ふ振り^{ひつす}が必須^{ひつす}。とてもしんどい^{さぎょう}作業^{つづ}が続き^{おお}、多く^{じかん}の時間^{ひつよう}が必要^{ひつよう}であり、

がく^{がく}しゅう^{しゅう}はん^{はん}い^いすす^{すす}もど^{もど}おお^{おお}せい^{せい}ふ^ふかず^{かず}ちゅう^{ちゅう}がく^{がく}ない^{ない}よう^{よう}
学^{がく}習^{しゅう}範^{はん}圍^いを^を進^{すす}んでは^{では}戻^{もど}ることも^{ことも}多い^{多い}。正^{せい}負^ふの数^{かず}などの^{などの}中^{ちゅう}学^{がく}の^の内^{ない}容^{よう}

を^を行^{おこな}えるのは^{くみ}6⁶組^{くみ}の^の一^{ひつ}ク^{さん}ラス^{さん}しか^{しか}ない^{ない}。筆^な算^にでは^{では}、ど^{どこ}こ^こに^に何^{なに}を^を書^かけ^かば^ばい^いい

の^のわ^わか^か分^{ぶん}か^から^らない^{ない}生^{せい}徒^とが^が多^たい^いので^{ので}、計^{けい}算^{さん}用^{よう}の^のマ^まス^すが^が必^ひ須^つである^{である}。

③ ^{きんき}近^や畿^{かん}の^{ちゅう}夜^{がく}間^{がく}中^{しゅう}学^{ぎょう}の^{ねん}修^{げん}業^{ねん}年^{げん}限^{ねん}について

きょう^{きょう}と^とねん^{ねん}おお^{おお}さか^{さか}なら^{なら}むせい^{むせい}げん^{げん}ひょう^{ひょう}ご^ご
京^{きょう}都^とは^は3³年^{ねん}、大^お阪^おは^は9⁹年^{ねん}(=6⁶年^{ねん}+3³年^{ねん})、奈^な良^らは^は12¹²年^{ねん}と^と無^む制^{せい}限^{げん}が^がま^まじ^じり^り、兵^ひ庫^{こう}

は^は3³年^{ねん}だ^だが^が見^{けん}学^{がく}無^む制^{せい}限^{げん}と^との^のこ^こと^とである^{である}。

④ ^{すう}数^{がく}学^{がく}ソ^そフ^ふト^とについて

とう^{とう}きょう^{きょう}せん^{せん}せい^{せい}すう^{すう}がく^{がく}すう^{すう}けん^{けん}しゅ^{しゅ}つ^つぱん^{ぱん}
東^{とう}京^{きょう}の^の先^{せん}生^{せい}か^から^ら、数^{すう}学^{がく}ソ^そフ^ふト^とと^として^{して}数^{すう}研^{けん}出^{しゅ}版^{ぱん}の^の「[「]ス^スタ^タデ^ディ^ィー^ーエ^エィ^ィド^ド」

しょう^{しょう}かい^{かい}を^を紹^ま介^んさ^んれ^れる^る。3³万^{まん}程^{てい}度^どの^の価^か格^{かく}だ^だが^が、ル^るビ^びを^を振^ふる^るこ^こと^とが^がで^でき^きな^ない^い。